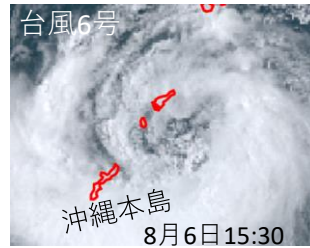


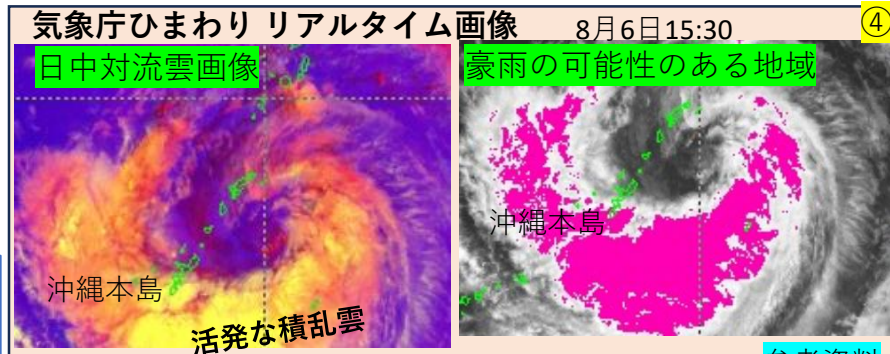
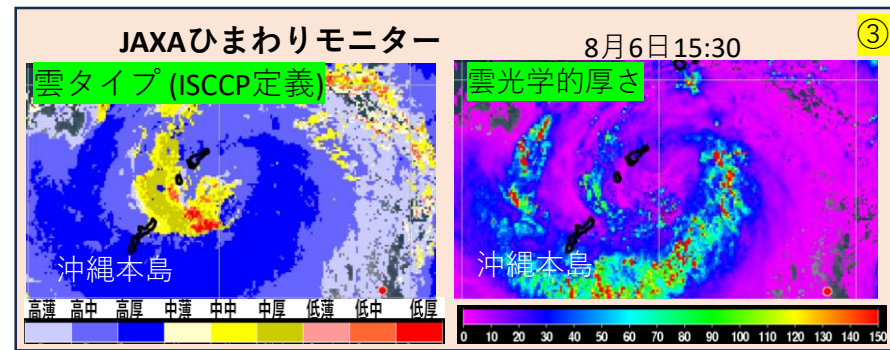
## スパイラルバンド 内側降雨帯



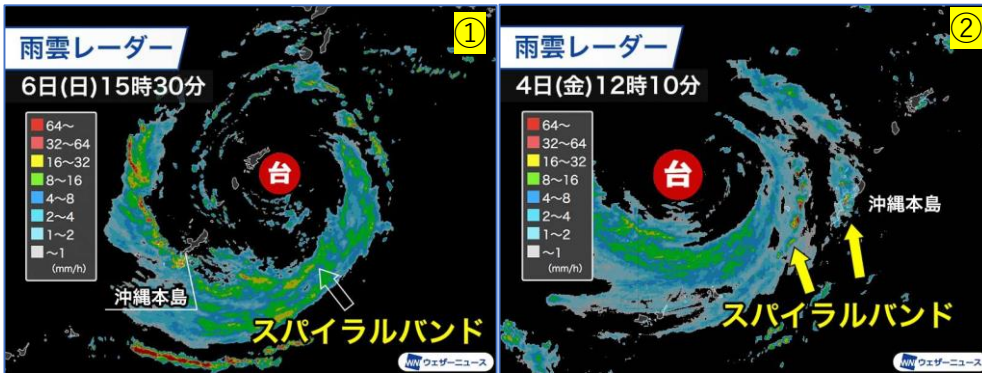
迷走する台風6号の進路が心配です。速度も遅く、すでに多くの被害が報道されています。台風の雨雲レーダー観測解説等に「スパイラルバンド」という説明が目立ちます。①②

気象用語解説 - BIGLOBEでは「スパイラルバンド：台風などの熱帯性低気圧を気象レーダーで観測したときに、見られるらせん状のレーダーエコーのこと」と説明しています。

<http://www2f.biglobe.ne.jp/~ryu/weather/term.htm>



参考資料



<https://weathernews.jp/s/topics/202308/060215/>

<https://weathernews.jp/s/topics/202308/040155/>

それぞれに次のような説明が付記されています。

「台風6号の周囲を取り巻くスパイラルバンドと呼ばれる活発な雨雲の帯が...」

「台風の中心から少し離れた所にスパイラルバンドと呼ばれる活発な雨雲の帯が...」

ひまわり9の台風6号観測データの「台風の眼」にむかう左回りのレーダーに反射している部分を、「JAXAひまわりモニター」「ひまわりリアルタイム画像」等で調べてみましょう。

8月6日15:30の観測データで、アクティブに探ってみましょう。

雨雲レーダー上のスパイラルバンド①②は、③④のデータで、その特質がみえてきました。

- ・厚みのある高い雲
- ・活発な積乱雲
- ・豪雨の可能性が高い。

「ひまわりリアルタイム画像サイト」は、過去24時間以内しか表示していませんが、「JAXAひまわりモニター」サイトはそれがありません。じっくり分析できます。

「スパイラルバンド」を、時間軸でアクティブに追ってみたり、他の台風でも同じような特質があるのでしょうか。⑤の図が興味を深めてくれます。



台風は巨大な空気の渦巻きで、地表付近では反時計回りの風が中心へ吹き込んで上昇しています。その高さは季節や勢力によって異なるものの、10~15kmとされています。

<https://tenki.jp/bousai/knowledge/5sacc20.html>